

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	672	配信日	2026/3/30	ジャンル	業界情報
テーマ	チラシ掲載中の山崎 25 年が高価な理由				

「山崎」はサントリーが2年の歳月をかけて生み出したシングルモルトウイスキーです。1984年の販売以来、30年以上経った現在もジャパニーズウイスキーの代表として世界中から愛されています。1つの蒸溜所で造られる多種多様なモルト原酒をヴァッティングは、華やかで芳醇な香りと濃厚な甘さと深みのある味わいが特徴です。そんな「山崎」の中でも、現在二次流通市場で過去最高値を更新し続けているものがチラシにも掲載されている「山崎 25 年」です。

■サントリーによる定価改定

サントリーは2026年4月1日出荷分から、「山崎」「白州」「響」を含むウイスキーの定価を6～15%引き上げます。原材料や物流コスト高騰、原酒不足が理由となっており、当然「山崎 25 年」も **360,000 円 から 415,000 円（税込 456,500 円）** へと高騰しました。メーカー自身がブランド価値を再定義したことで、中古市場の「底値」も大きく底上げされました。

■25 年という歳月

山崎 25 年の市場価格が定価を大きく上回る理由は、複数の要因が重なり合っています。まず最も大きな要因として挙げられるのが、25 年熟成に必要な原酒の絶対的な不足です。山崎 25 年に使用される原酒は、1990 年代に仕込まれた原酒が主に使用されるとされています。この時期はいわゆる「ウイスキー冬の時代」と呼ばれ、ウイスキーの消費量が低迷していたため、蒸溜所での原酒生産量も抑制されていました。そのため、現在需要が急増しても供給を増やすことが物理的に不可能という構造的な問題を抱えています。

■歴代ボトルで変わる山崎 25 年の希少性

山崎 25 年には発売時期によって複数の仕様が存在し、それぞれが異なる価値を持っています。コレクターや投資家にとって、どの仕様のボトルを所有しているかは非常に重要な要素です。比較トークの一つとして把握しておくといいでしょう。

1. ベロア仕様



2. 紙箱仕様



3. ミズナラ布箱仕様



4. リミテッド・エディション



今回は、「山崎 25 年」について共有しました。

チラシに掲載されている品物を理解することは、お客様からの「信頼」に繋がります。

「まずは自分の好きなジャンル」からで構いません。

少しずつ「語れる武器」を増やしていくのが、一流の査定士になる近道です！